

2025年12月12日

価値交換基盤「doreca」のデジタル給与領域でPayPayへの対応を開始

～デジタル給与に柔軟な選択肢を。マルチペイメントゲートウェイ提供で企業導入を後押し～

BIPROGY株式会社（以下BIPROGY）は、価値交換基盤「doreca」のデジタル給与領域において、PayPay株式会社（以下PayPay）が提供する「PayPay給与受取」への対応を2026年3月から開始します。

「doreca」は、個人のデジタルマネーにオンラインチャージするプラットフォーム（以下マルチペイメントゲートウェイ）として活用されており、導入する雇用企業は、決済事業者ごとに個別のシステム接続が不要となります。従業員は、複数の給与受け取り方法の中からキャッシュレス決済アプリ「PayPay」を選択可能となります。

またBIPROGYは、自社およびグループ会社における賃金のデジタル払いを2026年3月から順次開始し、従業員向けの福利厚生拡充を図ります。

【背景】

2023年4月の制度改正により、企業は銀行口座以外に指定資金移動業者の口座への給与支払い（賃金のデジタル払い）が可能となりました。

PayPayは、2024年8月に国内初となる厚生労働大臣の指定を受け、すでに100社を超える企業で「PayPay給与受取」が採用されています。

【概要】

BIPROGYは、2020年5月から「doreca」の提供を開始し、au PAYや楽天ペイなどの複数の決済サービスと接続するマルチペイメントゲートウェイとして、企業の報酬や保険金のデジタル送金を実現しています。

今回の対応で、デジタル給与領域における「doreca」の送金先として「PayPay給与受取」を追加し、2026年3月から提供を開始します。

マルチペイメントゲートウェイとして、「PayPay給与受取」が追加されるのは国内初となります。

2026年3月から「PayPay給与受取」への対応を開始



【雇用企業メリット】

決済事業者ごとに個別のシステム接続が不要

【従業員メリット】

複数の決済事業者の中から送金先を選択可能

【今後の取り組み】

BIPROGY は、PayPay とデジタル給与分野での導入企業拡大および利用促進を共同で推進していきます。

また、今後も「doreca」に決済事業者を段階的に追加し、導入企業の給与支払いの選択肢を継続的に広げることで、キャッシュレス社会のさらなる発展に貢献していきます。

以上

■価値交換基盤「doreca」の特徴

- 複数の決済事業者と接続しているため、導入企業は決済事業者ごとに個別のシステム接続が不要。また給与の受け取り手段の容易な拡充と送金業務の一元的な管理が可能
- 全銀協フォーマットに準拠した送金機能により、デジタル給与対応における法令対応や運用負荷を最小化
- 導入支援コンサルティングサービス^(注)により、企業側の導入前後の業務をトータルサポートし、導入負荷を軽減
- 振り込み業務の簡素化と銀行手数料の削減により、企業の管理業務を効率化

注：企業のデジタル給与導入における制度面の対応から運用開始までをワンストップで支援するサービスです。関係省庁や各決済事業者への手続き、デジタル給与追加後の給与振り込み業務への移行をお客さまが簡易的に実施できるよう支援します。

■「PayPay 給与受取」

給与を「PayPay」アカウントで受け取れるサービスです。受け取った給与は、「PayPay」で直接支払いに利用できるほか、必要な支払いに利用しているお客さま本人名義の金融機関口座や他の「PayPay」ユーザーに毎月自動で振り分けることができるため、お客さまの支出管理がより簡単・便利になります。

■関連リンク：

価値交換基盤「doreca」 <https://doreca.net/>

PayPay 給与受取 <https://paypay.ne.jp/biz/paycheck-employer/>

※doreca は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

＜本ニュースリリースに関するお問い合わせ＞

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

BIPROGYグループの「経営方針（2024-2026）」

「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」、「経営資源配分の最適化」、「グループ経営基盤の強化」の3つの基本方針を基軸に、「コア事業」と「成長事業」の両輪で事業拡大を図ります。

コア事業

集中と選択により強みのある領域を確立し
提供価値と収益性を高める

- ・注力領域の明確化により強みある領域の確立
- ・開発生産性・安定性の向上
- ・サービス型ビジネスの拡大

ファイナンシャル

リテール

エネルギー

モビリティ

OTインフラ

成長事業

積極的な投資により提供価値を高め
新たな収益基盤を確立する

- ・新たなサービス領域の獲得と成長市場におけるシェア獲得
- ・社会課題を解決する社会DX事業の共創・展開の加速
- ・ASEAN主要国でのビジネス展開

市場開発

事業開発

グローバル

【成長事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針(2024-2026)掲げる成長事業において、三つの重点戦略を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「事業開発」(スマートライフ分野)における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、社会課題解決における社会的価値と経済的価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針 (2024-2026)

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>